

平成24年 3月 6日

各 位

名古屋工業大学

工学教育総合センター 創造教育開発オフィス長
大原 繁男

名古屋工業大学 平成23年度 第2回FD研究会
『ゆとり教育世代』について考える」開催のお知らせ

拝啓 早春の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は本学に対しまして格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび、名古屋工業大学では、平成23年度 第2回FD研究会として、『ゆとり教育世代』について考える - 大学はどう向き合い、何をなすべきか - を3月19日(月)に開催いたします。はじめに、ベネッセ教育研究開発センター・主席研究員 山下仁司氏に『ゆとり教育世代』を大学はどうとらえるべきか』というタイトルでご講演をいただきます。昨今の学生の状況は、「ゆとり教育世代」という教育制度にのみ帰せられるものなのか、それともより大きな変化要因を含めて考えるべきなのか、現在の学生の理解と共に、これからの高等教育の方向性について考えるきっかけを提供していただきます。続いて、名古屋工業大学・工学教育総合センターのスタッフを中心にパネルディスカッションを行い、名工大における「ゆとり教育世代」の学力や学習態度・学生相談の変化について議論し、大学がなすべきことを探ります。

つきましては、大変ご多忙の折とは存じますが、是非ご参加いただきたく、ご案内申し上げます。関係者の方々へもご周知いただけますと幸いです。詳しくは、同封致しましたポスターをご参照願います。

敬具

主 催：名古屋工業大学 工学教育総合センター 創造教育開発オフィス

協 賛：工科系コンソーシアム

愛知工業大学・大同大学・豊田工業高等専門学校・名古屋工業大学

連絡先：名古屋工業大学 学務チーム

TEL：052-735-5066

E-mail：gakumu-tan@adm.nitech.ac.jp

「ゆとり教育世代」 について考える

—大学はどう向き合い、何をなすべきか—

いわゆる「ゆとり教育世代」は、一般に学力低下の観点から語られることが多いですが、はたして私たちは「ゆとり教育世代」について、本当に理解しているのでしょうか。この世代の学生たちと大学はどう向き合い、何をなすべきなのでしょう。

平成23年度は、大学において学部1年生から大学院2年生まで「ゆとり教育世代」になった年にあたります。一方で小学校では、新学習指導要領「生きる力」が全面実施になりました。これを機に「ゆとり教育世代」について理解を深め、大学が何をなすべきかを考えることを目的に研究会を企画しました。

幅広い皆様の参加をお待ちしております。

日時 **3月19日** 月 13:30~15:30

場所 **名古屋工業大学 講堂2階 会議室**

入場無料

13:30~13:35 **開会の挨拶** 名古屋工業大学 工学教育総合センター長 大貫 徹

13:35~14:35 **特別講演**

「ゆとり教育世代」を大学はどうとらえるべきか

昨今の学生の状況は、「ゆとり教育世代」という教育制度にのみ帰せられるものなのか。それともより大きな変化要因を含めて考えるべきなのか。現在の学生の理解と共に、これからの高等教育の方向性について考えるきっかけを提供していただきます。

山下 仁司氏 (株)ベネッセコーポレーション ベネッセ教育研究開発センター 主席研究員

略歴：(株)福武書店(現ベネッセコーポレーション)にて、進研模試副編集長、ニューライフゼミ英語教材編集長を歴任。ベルリッツ・アイルランド、シンガポールに出向、国際教育事業部部长、英語テストGTEC開発統括マネージャー、ベルリッツ・ジャパン取締役等を経て、2006年よりベネッセ教育研究開発センター主席研究員。主な研究領域は、テスト・アセスメント、語学教育、高等教育改革

14:40~15:25 **パネルディスカッション**

15:25~15:30 **閉会の挨拶** 名古屋工業大学 工学教育総合センター 創造教育開発オフィス長 大原 繁男

主催／名古屋工業大学 工学教育総合センター 創造教育開発オフィス

協賛／工科系コンソーシアム(愛知工業大学・大同大学・豊田工業高等専門学校・名古屋工業大学)

交通アクセス JR中央線 鶴舞駅、地下鉄鶴舞線 鶴舞駅 東へ徒歩約7分

お問い合わせ **名古屋工業大学**

TEL 052-735-5066

E-mail gakumu-tan@adm.nitech.ac.jp